

経済状況及び動向等資料

今後の事業資金融資あっせん制度の方向性について、下記の動向及び実績等から検討する。

記

- 1 月例経済報告及び地域経済動向等の概況
- 2 東京都内の中小企業の景況
- 3 都内、多摩地域及び西東京市内における中小企業の倒産件数

1 月例経済報告及び地域経済動向の概況

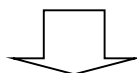
(1) 月例経済報告〔内閣府〕

① 景況判断(最近3か月間)

<令和3年7月>

景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増している。

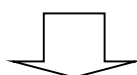
先行きについては、感染拡大の防止策を講じ、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、感染の動向が内外経済に与える影響に十分注意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。



<令和3年8月>

景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増している。

先行きについては、感染拡大の防止策を講じ、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待されるが、感染拡大による下振れリスクの高まりに十分注意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。



<令和3年9月>

景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、このところそのテンポが弱まっている。

先行きについては、感染拡大の防止策を講じ、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、内外の感染症の動向、サプライチェーンを通じた影響による下振れリスクの高まりに十分注意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

② 月ごとの主要指標の変更点

	7月月例報告	8月月例報告	9月月例報告
個人消費	このところサービス支出を中心に弱い動きとなっている。	サービス支出を中心に弱い動きとなっている。	弱い動きとなっている。
設備投資	持ち直している。	—	—
住宅建設	底堅い動きとなっている。	—	このところ持ち直しの動きがみられる。
公共投資	高水準で底堅く推移している。	—	—
輸出	緩やかな増加が続いている。	—	—
輸入	持ち直しの動きがみられる。	このところ持ち直しの動きに足踏みがみられる。	—
貿易・サービス収支	おおむね均衡している。	—	—
生産	持ち直している。	—	このところ一部に弱さがみられるものの、持ち直している。
企業収益	感染症の影響により、非製造業では弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している。	感染症の影響により、非製造業の一部に弱さが残るものの、持ち直している。	—
業況判断	一部に厳しさは残るものの、持ち直しの動きがみられる。	—	—
倒産件数	減少している。	—	—
雇用情勢	感染症の影響により、弱い動きとなっているなかで、求人等の動きに底堅さもみられる。	—	—
国内企業物価	上昇している。	—	—
消費者物価	横ばいとなっている。	このところ底堅さがみられる。	—

(2) 地域経済動向(令和3年8月)－南関東地域－〔経済産業省〕

	令和3年6月		令和3年8月
景況判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増している。	⇒	－
個人消費	このところサービス支出を中心に弱い動きとなっている	⇒	サービス支出を中心に弱い動きとなっている。

2 東京都内の中小企業の景況(東京都産業労働局商工部調べ)

(1) 最近4ヶ月の景況

調査月	令和3年6月	令和3年7月	令和3年8月	令和3年9月
業況	わずかに上向く	やや上向く	弱含みで推移	2か月連続で悪化
見通し	引き続き悪化	上昇に転じる	慎重な姿勢	厳しさ強まる

3 都内、多摩地域及び西東京市内における中小企業の倒産件数

(1) 都内の状況(令和3年)

令和3年7月の倒産件数は、85件(前年同月比43.7%減)となった。

業種別件数では卸売業(20件)、サービス業(20件)、情報通信業(11件)、建設業(9件)の順となった。

令和3年8月の倒産件数は、86件(前年同月比32.3%減)となった。

業種別件数では卸売業(17件)、サービス業(14件)、小売業(12件)の順となった。

令和3年9月の倒産件数は、92件(前年同月比13.2%減)となった。業種別件

数ではサービス業(24件)、卸売業(15件)、情報通信業(10件)の順となった。

(2) 多摩地域の状況

令和3年7月の倒産件数は、11件(前年同月19件)となった。業種別件数では、建設業6件、宿泊業、飲食サービス業2件の順となった。

令和3年8月の倒産件数は、6件(前年同月20件)となった。業種別件数では、不動産業2件となった。

令和3年9月の倒産件数は、9件(前年同月23件)となった。業種別件数では、建設業3件、製造業2件の順となった。

(3) 西東京市内の状況

令和3年7月の倒産件数は、1件で、業種は情報通信・運輸、郵便業であった。

令和3年8月の倒産件数は、1件、業種は不動産業であった。

令和3年9月の倒産件数は、0件であった。

◎ 全体的な傾向の考察

項目	指標	傾向
経済情勢	月例経済報告・地域経済動向・東京都中小企業の景況	月例経済報告・地域経済動向: 新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増している。 東京都中小企業の景況(9月): 2か月連続で悪化。
倒産件数	都内の中小企業の倒産件数の3か月合計(7、8、9月)	多摩地域: 26件。 西東京市: 2件。